

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回 深谷市総合教育会議	
開催日時	令和2年11月18日(水) 午前9時00分開会・午前10時15分閉会	
開催場所	深谷市役所 3階 大会議室	
議長氏名	小島市長	
出席者氏名	出席者名簿のとおり	
事務局出席者氏名	出席者名簿のとおり	
会議事項	<p>1. 議事 <協議事項> (1) 「渋沢栄一翁の心を受け継ぐ」 ～ふるさと教育のさらなる充実について～ (2) 深谷市GIGAスクール構想 「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」について</p>	2. 会議結果承認
会議の経過 (議事の要旨)	別紙のとおり	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第1回深谷市総合教育会議 次第 ・令和2年度第1回深谷市総合教育会議 構成員名簿 ・「渋沢栄一翁の心を受け継ぐ」～ふるさと教育のさらなる充実～について ・大河ドラマ館概要 ・深谷市GIGAスクール構想「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」について 	
その他		
会 議 録 の 確 定		
確 定 年 月 日		議 長 署 名
令和2年12月24日		小島 進

別紙

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容(要旨)・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 出席者紹介</p> <p>5 議事 ※深谷市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長を議長として議事を進行</p> <p>≪協議事項≫ (1) 「洪沢栄一翁の心を受け継ぐ」 ～ふるさと教育のさらなる充実について～</p> <p style="text-align: center;">(事務局から説明)</p> <p>議長 事務局からの説明について、ご意見、ご質問などがあればお願いします。</p> <p>委員 青淵まつりでは、栄一翁の顕彰として、A-1ウルトラクイズやこども商店を実施しており、こども商店では、商売の体験を通して「土魂商才」や「至誠」等の栄一翁の精神を子どもたちに教えている。 学校教育に関しても、栄一翁の精神をより多くの子どもたちに伝えていただければと思う。</p> <p>議長 栄一翁も幼少期に家業の藍玉販売を手伝っており、商売体験を通して栄一翁を学ぶことは重要なことだと考える。 また、栄一翁の精神は幅広い分野に及ぶものであり、商売だけでなく他の分野にも応用できる。</p> <p>委員 深谷小学校では、給食の時間に栄一翁に関するクイズを放送していると聞いた。子どもは楽しみながら学習することで、自然と知識として吸収する。このような取組を継続して行っていただきたい。</p> <p>委員 県内の小中学生を対象に、大河ドラマ館の無料招待券を配布することは良い取組だと思う。配布方法は、家庭ごとに配布し、親と一緒に来てもらうことを想定しているのか、または学校ごとに配布し、社会科見学等で来てもらうことを想定しているのか。</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
事務局	家庭ごとの配布を予定している。子どもだけでなく、親も一緒に、より多くの方が深谷を訪れてもらいたいと考えている。
委員	最近、本屋で栄一翁関連の書籍をよく目にする。学校においても、子どもが栄一翁の関連書籍をいつでも読めるよう、図書室に栄一翁コーナーを設置するなど、環境を整備しておくことが大事ではないか。
事務局	学校ごとに多少の差はあるが、整備は進んでいる。
委員	意識調査では、「将来、深谷市に住んでみたい」と答えた大学生の割合が低いが、深谷市の転入・転出の状況はどうなっているのか。
事務局	転入・転出の社会動態については、平成12年頃から転出超過が続いている状況である。また、出生・死亡の自然動態については、平成20年頃から死亡数が出生数を上回っており、平成18年の合併から現在まで、約5,000人の人口減少となっている。
議長	学校ごとの児童数はどのような状況か。
事務局	常盤小学校と花園小学校については、維持又は微増となっており、その他の学校は減っている状況である。
委員	深谷の学校はホームページでの情報発信が充実しており、それがきっかけで転入したという話を聞いた。今後も、様々な方法で深谷の魅力を発信していくことが重要だと思う。
委員	栄一翁は実績に対して知名度が低いように思われる。深谷だけの渋沢でなく、埼玉の渋沢というように県を巻き込んで知名度を上げる取組を実施してはどうか。
事務局	<p>栄一翁の知名度が低い理由としては、栄一翁が敗れた幕臣側であったこと、また維新の動乱時にパリに行っており、明治時代の教育では偉人の要素が薄かったことが考えられる。</p> <p>また、戦前までは実業家を偉人扱いする風潮がなく、戦後30年程で栄一翁が見直されてきた経緯がある。</p>
事務局	<p>栄一翁のPRに関する県の支援として、今年の11月から来年の2月まで、東京都内を循環する都営バスに栄一翁のラッピングを施している。また、東京メトロの車両内で栄一翁に関する動画を流している。</p> <p>東京商工会議所では、企業を集めたシンポジウムを開催するなど、東京を中心に栄一翁のPRを実施していただいている。</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
議長	<p>社会科見学や遠足等で渋沢栄一記念館を訪れる学校はどの程度あるのか。</p>
教育長	<p>川越市や羽生市の学校では、社会科見学で渋沢栄一記念館を訪れていただいた。ただ、社会科見学の主旨は産業社会の勉強であるため、渋沢栄一記念館のみの見学ではなく、近隣の工場見学とセットで行うことが求められる傾向にある。</p> <p>現在、深谷市では子どもが栄一翁を学び、家庭で親に話すという良い流れができています。大河ドラマ館の無料招待は、この良い流れをさらに加速させるとともに、学校と博物館の博学連携が大きな広がりを持つチャンスである。今後も教育委員会と市長部局で連携を取りながら、しっかりと進めていきたい。</p>
議長	<p>市としても、今年は渋沢栄一記念館にアンドロイドを設置し、来年はNHK大河ドラマ館を整備するなど、栄一翁関連施設の一層の充実により、翁の顕彰活動が大きく前進するものと考えている。</p> <p>こうした状況のもと、それらの施設と学校教育の連携により、子どもたちが栄一翁に関することを体感し、また誰かに栄一翁のことを伝えるという体験を通し、深谷を好きになり、次代の深谷を担う子どもの心を育てていきたいと考えている。それは、まさに「ふるさと ふかや・渋沢学」に通ずるものである。</p> <p>このように、子どもたち一人ひとりが自分の身近な家族にこうした体験を伝えることで、大人たちの興味関心を誘発し、深谷愛の高まりから栄一翁の関連施設に市民の皆様が足を運ぶようになり、まさに元気な深谷のまちづくりが進められるのではないかと考える。</p> <p>本日、委員の皆様からいただいたご意見も参考とさせていただきますながら、市としても学校教育と栄一翁関連施設との連携を図り、ふるさと教育をさらに推進していきたい。</p> <p style="text-align: center;">(2) 深谷市G I G Aスクール構想 「渋沢 spirit in ふかや G I G Aスクール」について</p> <p style="text-align: center;">(事務局から説明)</p>
議長	<p>事務局からの説明について、ご意見、ご質問などがあればお願いします。</p>
委員	<p>学習用タブレットの導入については、家庭での管理方法やネットトラブルが心配であるが、その問題を解消できれば有効に活用できるものと考えている。</p>
事務局	<p>管理方法については、他の教育機関等と連携しながら、使用のきま</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
委員	<p>りを作成しているところである。また、コロナ禍において保護者が学校に来ることが難しい状況であるが、機会を捉え、学校運営協議会等で保護者向けに管理方法等を説明していく。</p> <p>これまで深谷市では、「深谷市で育みたい「7つの力」」を掲げ、学校教育を進めてきたところであり、その中の「忠恕」の「思いやる心」がまさに情報モラルに通ずるものである。今後も、相手を思いやる力を身に付け、ネットトラブルに巻き込まれることのないよう、指導を積み重ねていく。</p> <p>最近では、店での支払いもネット化が進むなど、子どもを取り巻く環境が大きく変化している。このような時代の変化に取り残されることのないよう、しっかり教育しなくてはならない。</p> <p>子どもたちの吸収力や技術力は凄いものがある。生徒が学校のサーバーをハッキングする事件が他市町で実際に起きており、サーバー管理はしっかりと行っていく必要がある。</p> <p>また、すべての児童生徒が家庭でタブレットを使用できるよう、家庭環境の格差をどう埋めていくか考えていく必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>サーバーの管理については、ICT推進室及び機器メーカー等と連携し、しっかりと行っていく。</p> <p>家庭環境の格差については、現在調査を進めており、インターネットを使う環境が整っていない家庭は全体の3～4%程度であると想定される。今後、どの範囲まで支援が必要となるかなど、継続して調査、検討していく。</p> <p>これからは、タブレット等を使用し、家庭で学習することが当たり前前の時代になってくる。すべての子どもに学びの機会を与えられるよう、関係機関と連携し、進めていきたい。</p>
委員	<p>教員の研修状況はどのようになっているか。</p>
事務局	<p>10月から教員向けの研修を開始し、これまで全体研修を3回実施した。コロナ禍で多人数を集めての研修が難しいため、研修の様子を撮影し、動画での配信も行っている。今後も、計画的に研修を実施していく。</p>
委員	<p>新たな技術を導入することにより、教員の負担は増えていないか。</p>
事務局	<p>慣れるまである程度の期間は必要となるが、提出物のチェックや成績処理、出欠の確認等、将来的にはかなりの時間を短縮することができ、教員の負担を軽減できると考えている。</p>
議長	<p>市では、今年度中に児童生徒に1人1台タブレットと、高速大容量</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 (要 旨) ・ 決 定 事 項
	<p>ネットワーク環境を整備し、児童生徒がタブレットを文具のように扱う新たな学びがまさに今、始まった。</p> <p>今後、児童生徒の情報モラル教育や、家庭での学び、学校、家庭、地域、関係機関とが連携した学びを充実させるためには、新たな課題が表れることも考えられる。本日、委員の皆様にご協議いただいた内容を踏まえて、今後、市と教育委員会で相互に連携し、この取組を実り多きものにしていきたい。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>